

有宵会だより

第95号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-6
4

九星と易断による

十月・十一月の運勢

気学では戌十月

十月八日（寒露）節入り

天道
生 氣

2	7	9
1	3	5
6	8	4

破 ア

気学では亥十一月

十一月八日（立冬）節入

ア
生 氣

1	6	8
9	2	4
5	7	3

天道



一 白水星の人の運勢

十月筮―雷風恒の九二

十一月筮―震為雷の九四

十月は変ることなくい

つもの通り、意地は張ら

ず聞き流す。仕事は手堅

いが仕上がりは遅れがち

です。愛情表現は素直に

表わす。家庭では女性の

力で禍を転じて福となす。

風邪、のど、首肩、神経。

十一月は活気があり忙

しい。予定通りに進めて

処理。交際多く気を遣い

過ぎ、仕事は書類の確認

と報告を。家庭の味は食

卓からの楽しさ。疲労、

消化器系の健康管理を。

十月筮―沢水困の九四

十一月筮―山地剥の六二

十月は慎重運、何事の

もやり過ぎず急がずに待

つ。予期せぬ買物話しは

益なし。仕事はコンビネー

ションと会話が大切です。

佐布の中身はいつも手堅

く。情愛は深まるとき。

足腰を鍛え体力づくり。

十一月は多事多用で追

いかけられる、大事な用

三 碧木星の人の運勢

十月筮―地火明夷の九三

十一月筮―地水師の六四

十月は公私共に自重し

てゆっくり進む。家業を

守り技を磨く。景気は落

着く。わが家の家具手入

れが楽しい。安眠と食生

活を第一、外出先でのマ

ナー心がけと優しい言葉。

気管と食道、胃炎に用心。

十一月は方針通りに進

める。積極策で行く気力

張るとき。仕事は良好、

家事は予定延びたり会話

不足。宝探しにくじ運に

賭けてみる。連絡早め吉。

肩こり、皮膚、ストレス。

四 緑木星の人の運勢

十月筮―水天需の六四

十一月筮―地雷復の初九

十月は多忙で責任を感

じる。強引な態度に出な

いで柔軟さが無事。拾う

神ありチャンスは近い。

五 黄土星の人の運勢

十月筮―火沢睽の六三

十一月筮―火天大有九四

十月運は安心無事の見

通し。のんびり出来ず忙

しさあり。二兎追わず本

命中心に励む。人集まる

ところ話題の種、自由に

動いて結果が出る。対人

面は意思疎通を図ると吉。

食を楽しみ煩惱捨てて。

十一月は良宮の重荷が

取れて気分良好。中旬の

予定が叶う。仕事は焦ら

ず交誼は良く胸襟を開く

金銭の出超に留意。お祝

い事の話が外から来たる。

慢性症、呼吸器、歯痛。

六 白金星の人の運勢

十月筮―火沢睽の初九

十一月筮―水沢節の六三

十月は予想以上に多忙

重責に肩の荷が重い。な

かなか埒があかないモノ

七 赤金星の人の運勢

十月筮―雷水解の六三

十一月筮―離為火の初九

十月は何かと張り切り

すぎるが慎重に。懸案の

問題は解決策あり。調子

に乗っての失言と安請合

禁物。金銭問題は後手に

なり慌てる。個性派は自

分ペースに拘るが自重。

食養、睡眠、休養を図る。

十一月は予定に合わせ

て動く、旧習を繋ぐ新方

針は準備不足。苦情や要

求は聞くだけで待つ。仕

事も結果待ち。家庭は夫

唱婦随でいく、金運保全。

風邪と潜熱、倦怠感あり。

八 白土星の人の運勢

十月筮―水沢節の初九

十一月筮―雷天大壮九二

十月は公私に急がずゆ

くり善処。同じことの繰

り返しは無駄なこと。

仕事は軌道に乗り安心。

小さく狙って収獲する。

人からの相談や依頼は深

入りせず、家族は仲良し。

足腰、腹痛、両便快適に。

十一月は前向きの方針

でも要件は遅れがち、目

下や部下の意見聞く、家

族の愛情を感じる。家計

費の支出に不意の出費。

希望プランは年末期待。

胃腸、骨盤内、各種再発。

九 紫火星の人の運勢

十月筮―雷火豊の六五

十一月筮―山天大畜上九

十月の運気は徐々に良

くなるので安心。無理を

しないで待つ。意志を変

えず貫ぬく、チャンスは

苦労の後にやってくる。

仕事は平穩、交際変らず

に歓談。金運手堅く守る

命は食にあり心の安心。

十一月は平素の努力が

実を結ぶ、躍進の好機は

近い。継続は力なりで成

果を得る。熟練者に花が

咲く。趣味の仲間と意気

上がるが家庭のこと弱し。

仕事は二つ欲が出るとき。

気疲れ、足腰、消化力。

福田 有宵

七月有宵会報告

岩崎 紀子

令和元年七月二十七日（土）、足立区勤労福祉会館ブルミエに於いて、で法人岳易館・有宵会総会と定例会が開催されました。議事、司会進行を佐藤宗眩先生が担当されました。

総会

「開会のことば」

菅原有恒顧問



この度顧問をお引き受けすることになりました。どうぞよろしく願います。

私は八十歳になります。が歳に関する言葉は面白く、鑑定でお客様の年齢を聞いた際に歳の話をしますと会話も弾みます。七十歳は古希で、希は「まれなり」です。七十歳は喜寿で喜の字をくずすと毬であり、七を三つ書きます。八十歳は傘寿で八の下に人が四人い

てその下に十と書きます。略すと八と十だけ残って八十です。八十八歳は米寿。九十歳は卒寿ですが卒は歳が終わる言葉なので、あまり使わない方がよいと思います。現在は人生百歳の時代です。皆さま、これからも長生きして有宵会をもちたてていきましよう。

「理事長挨拶」

福田有宵理事長



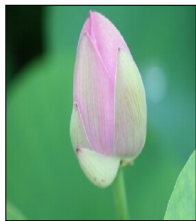
昨年はお二人の方が亡くなられました。牧野朱扇先生と渡部馨心先生です。ここに哀悼の意を表したいと思います。お二人は歳若くしてお亡くなりになられましたのでとても残念です。慎んで哀悼してください皆さまもくれぐれもお身体を大事に。（この後全員で一分間の黙祷を捧げました）

また、お祝いの話もあります。泰山林翰先生が相模原市の東林公民館長に就任されたことをお祝い申し上げます。有宵会の方々が社会の為にそれぞれの場面において十分な活動をされていることを嬉しく思います。

令和の時代に入り第一回目の総会を迎えることができました。これも会員の皆さまのご協力によるものです。ありがとうございました。これからも無料鑑定会を中心として社会に貢献し、占いという先を予測する技術が人様のためになりますようにしていきたいと思います。

「2018年度 活動経過報告」

福田有倭先生



「2018年度 会計報告」

八川林加先生



「2018年度 会計監査報告」

今中陽子先生



「2019年度 活動計画（案）」

岩崎紀子



「2019年度 収支予算（案）」

八川林加先生

各先生方から報告がなされ、出席者からの拍手をもって承認を得られました。

定例会

今回は大澤瑤扇先生と岸浦光伶先生のお二人にご講演いただきました。なお、紙面の都合により主な内容に絞ってご紹介しておりますことをご容赦ください。

第一部「ケガについての体験談」

大澤瑤扇先生



平成三十年一月二十四日、良の年で雪が降っていた日でした。電動自転車を降りようとした際にバランスを崩し、自転車を跨いだまま転倒してしまいました。救急車で搬送され入院となり、すぐに患部の処置をしました。それは右膝の両側からドリルで穴を開け、針金を貫通させるというもので、局部麻酔ではあったものの、麻酔が完全には効かず、「ギャッ」と悲鳴を上げてしまいました。見

ると三〇センチくらいの針金が右膝をやきとりの串のように貫通してしましました。その後針金の先に紐で五キロのおもりをつけ、足の牽引を五日間しました。また、辛かったことは、その時は寝たきりの状態ですが、寝巻きの交換の際に看護士さんに足をさわられると痛くて痛くて「痛いんだから触らないで！」とわめいてしまったほどです。入院して五日後、手術となりました。右大腿骨骨幹部骨折といい、いわゆる複雑骨折でした。主治医の手違いで始めに行った手術をもう一度やり直すことになり、五時間間及ぶ手術となりました。手術の翌日は足が通常の太さの四倍に膨れ上がり、痛みましたが、翌日からリハビリが始まりました。約一ヶ月間、車イスに乗る訓練を行いました。その後、二月末に船橋市内のリハビリ専門病院に転院となりました。車イスでの転院です。病院では私の身体の寸法に合わせた車イスを用意してくれました。病院から「退院後どのような生

活をしたいですか」と聞かれたので、「私は今まで一人暮らしで、飛んで歩いて生活をしていたの

で、これからも自分一人で生活ができるようにしたい」と希望を伝えました。そうしたところ、理学療法士と作業療法士の先生がついて、それはそれはハードなリハビリの毎日が始まりました。

んの希望を叶えてあげたいのです。家に歩いて帰りたいんでしょう？」と言われてしまいました。先生は「大澤さんが歩いて帰れるようにしてあげたい」という一心で、一生懸命やってくれました。

また理学療法士の先生とは、ベッドの上で両足首に1.5キロのおもりをつけ、うつぶせにして背中を押さえられ、足だけを上げる訓練をしました。これは痛くてなかなか上がらないですよ。最後は外出しての訓練です。病院の周りが遊歩道になっており、一周三千歩あります。杖を使わずに歩きますが、途中で先生が「大澤さん、足が痛いですか？杖を使いますか？」

です。病院に戻って「部屋に入るのかな？」と思っ

ていたら、そこから三千歩歩くんですね。「そこまでやるの！？」と思いましたが、その甲斐あって、今こうして歩けるのは、あの厳しいリハビリに耐えて、先生たちにはありがたかったと感謝しています。

す。今回のことを振り返りますと、ケガって誰だっ

たか、ケガって誰だっ

西洋占星術は単なる星

占いでなく、深い意味

座、魚座、エジプトの

座が描かれています。シ



岸浦光伶先生

第二部「クレオパトラ
ホロスコープとキトラ
古墳天文図」

今このことを振り返りますと、ケガって誰だっ

1. クレオパトラホロス

これはクレオパトラが

神が日食しようとしてい

るヒヒを捕まえて、日食

これは世界最古の科学的要素を含む天文図だそうです。私は実際に見学しましたが、かすかに絵が見えるという感じでした。石室の側面壁画には、四神、十二支の寅の図、天井には二十八宿と他の星座群が金箔で描かれています。赤い線に結ばれた六十八の星官（星座）があります。参宿（オリオン座の三ツ星とした）、北斗（北斗七星であり、星図の中心にある）、軍市（市場を表し、繁栄の象徴）、弧矢（弓と矢が天狼を指している）、天狼（シリウス）、室宿、壁宿、老人星（カノーパス。寿老人。見ると長生きできるといわれる）などです。なお弧矢については、先ほどのクレオパトラホロスコープ中にもシリウスに向かって弓を射る女神の図があり、双方に同じ図柄が描かれているのが不思議です。

この星図が科学的なのは、三つの同心円と一つの円、外側に外規、天の赤道、内規、斜めに黄道が描かれていることであり、宇宙は地球を中心に球状に広がるという古代の宇宙

観を表します。星図がいつ作成されたかは北を見ます。地球はコマのように回転しており（歳差運動）、年代によつて北が変わるため作成時期が推測できます。キトラ古墳が作られたのは西暦四〇〇年説がありますが、まだまだ研究中です。

3・蘇州天文図（中国）と天象列次分野の図（朝鮮半島）

初め紀元前六〇年頃の中国で作られ、後に百済、日本へと運ばれました。これに関する資料は寒川神社様にもあります。これが日本に伝わってキトラ古墳の基になったとも言われます。占いに必要な暦や天文の知識は百済から伝えられました。

その他のこととして、中国では紀元前二〇〇年には高度な天文学が確立されました。渾天儀（天体観測に使用する道具）と開元占経（本）です。開元占経には、宇宙構造論、天文・気象・地質学的な現象や生物の様子等による古今の占法、中国の古今の暦法、インド天文学の九執暦（九曜）が収録されています。九曜は七曜（月火水木金土日）に

羅睺と計都を合わせて九曜です。この2つはインド天文学においては白道と黄道の交差点に当たります。日本では密教における星辰信仰（妙見信仰）を介して知られるようになりしました。

六二八年に日本で日食が起きました。天体観測は不可欠ということで六七五年に占星台が作られました。天の異変は国家の盛衰にかかわることでした。

4・暦に命をかけた人の話

① 渋川春海

「天地明察」という映画に取り上げられ、暮の名手、天文学者であり数学者です。貞享暦を作り、幕府から天文方を命じられました。映画で使用した渾天儀や算木等は寒川神社や金王八幡宮に展示されています。

② 真田幸村

真田家の旗印「六文銭」は冥銭（冥土への渡し金）であり、さらに惑星をも表していると言われています。幸村は天文に詳しく、木星（歳星）の運行により戦の勝敗が分かっていたそうですが、あえて恩義のある豊臣方についた

という事です。

③ 伊能忠敬

日本の正確な地図を作り上げた方です。九十九里出身で、十七歳で佐原の伊能家に婿入りしました。佐原では利根川の洪水のため土地測量の技術が必要でした。忠敬は観測技術を身につけるため四十九歳で江戸の蘭学者高橋至時に師事し、五十五歳の時に測量を開始しました。忠敬は地図作成よりも、地球の大きさを自ら実測したいという気持ちが大きかったようです。緯度一度を測定し三百六十倍すれば地球の全距離が求められることになりましたが、忠敬が最終的に歩いた距離はちょうど地球一周分でした。忠敬の観測結果は正確で、その高い技術は世界に誇れるものです。

また、忠敬の生真面目というか堅実な性格を表す逸話があります。ある時、病になった忠敬のために卵を買いに行くことになりました。その際に「江戸で卵を買うよりも佐原で買ったほうが安いから、佐原に買いに行くように」と言ったそうです。忠敬は浅草にあった天

文台で観測をしており、現在も浅草橋駅の近くに幕府天文台跡があります。葛飾北斎も富嶽百景の「鳥越の不二」に描いており、庶民にも天文が興味のあるものとして捉えられていたことが分かります。

忠敬の死後、その遺志を継いだ弟子たちによつて地図は完成し、その地図は幕府や世界から高い評価を得ました。岸浦先生には、星図や測量道具などを美しい写真や映像を交え、星にまつわる事柄について多岐にわたつてご解説いただきました。特に古い時代についてはロマンを感じさせるものがあり、皆でその時代に思いをはせることが出来ました。ありがとうございます。

第三部 「占いアラカルト」 福田有宵先生

《解説》

大澤先生のお話は身に迫るものがありました。これまで丈夫に過ごしてきた、そろそろのんびりしようかという時にケガなどとんだ事にあう場合があります。皆さま気をつけてお過ごしください。岸浦先生のお話はさわや

かな星座の世界に誘われました。また、資料を十分に調べておられ、内容の濃いご講演でした。お二人ともありがとうございました。

1・易の占例

「本日の有宵会は開催できるか。天候はいかに」現在台風が近づいており、本日の有宵会開催が危ぶまれました。得卦は山沢損九二。

三陰三陽卦で、その前の状態は地天泰で泰は天地仲良くおさまっています。台風が来て、三爻が上爻に移り、台風の実態となりました。内卦を大地とし関東地方であり、乾です。外卦を天空とし台風であり、艮でゆっくりです。また艮は曇りです。之卦は山雷頤で結果的に太陽が燦爛とした状態。内卦（午前中）は兌で曇つたり雨が降つたりしますが、頤そのものは晴れなので、天候に問題はなく、会は開催できると見ました。

2・うれしい便り

地方に住む四十代の女性から「赤ちゃんができました」という報告がありました。

不妊治療の末に授か

り、女性は本命六白金星、月命四緑木星です。ご主人は同年生まれで月命八白土星です。ポイントは月命にあります。

赤ちゃんは性別が不明ということ、この現代に性別が分からないというの、これも古風で意味のあることです。親の年齢によって、子どもの性格・性質は違ってくる。歳をとられた親に育てられた子と、若い親に育てられた子には違いがあり、そのような研究をすることも良いのではないのでしょうか。

3. 手の甲でみる手相

鑑定の際に相談者から手を出された時は、手のひらを見て、ひっくり返して甲を見ます。

まず爪の具合や色を見てください。爪は健康面を見ると、心臓系や胃腸系の身体であるか、ストレス系の爪であるかが分かります。手に裏表はありません。手の内（または手の中、掌）、手の外という言い方をしてください。手の甲は陽、掌は陰を表します。甲は精神状態を表しますので、鑑定の際は手の内の丘を甲の方にそのまま移しか

えて見ます。

また、手を出してもらった時は自然体で出してもらいます。中指が手の内に入っている（寄っている）人は、問題を抱えていたりします。逆に外側に向いている（反っている）人は息が抜けている時です。誰でも皆プライドがあります。「自分は他人と同じではない」と言いたいのです。そのため手相は人気があります。鑑定の際はそういった気持ちを汲んでください。

福田先生、大澤先生、岸浦先生、貴重なお話をどうもありがとうございました。

進歩向上の工夫 ①

いかにすればいつまでも進歩向上していくことが出来るか。第一に絶えず精神を仕事に打ち込んでいくということです。純一無雑などと申しますと古典的ではありますが、近代的に言うとなんか力を挙げて仕事に打ち込んでいくということなんです。

進歩向上の工夫 ②

人間に一番悪いのは雑駁とか軽薄とかいう事でありまして、これは生命の哲学、創造の心理から

申ししても明らかでございまして、これはほとんど生命力・想像力を害するものはありません。また生命力・想像力が衰えると、物は分裂して雑駁なるものであります。これがひどくなると混乱に陥ります。人間で申ししますと自己分裂になるのです。そこで絶えず自分というものを何かに打ち込んでいくことが大切であります。

安岡正篤 一日一善より、NPO通信

賛助会費として次の方々からご寄付を頂戴いたしました。厚く御礼申し上げます。

（敬称略・順不同）

福田有宵・佐藤宗眩・吉田侑加・半田晴詠・久保田恵都予・菅原有恒・大澤瑠扇・今中正美・今中陽子・小松輝子・深町由美子・中村信子・木村眞理子・天川鼓悠・堀内憲子・安藤忠雄・匿名希望

◆鑑定会活動報告

◎八月三日（土）江東区砂町文化センター「サマーフェスティバル」にて無料鑑定会を開催。厳しい猛暑日が続く中にも拘わらず、過去最高の263名の方がご来場されまし

た。お子様から大人まで、幅広い層からご相談をいただきました。

出演者 二〇名（敬称略・順不同）福田有宵・佐藤宗眩・久保田恵都予・福田有倭・長澤光祐・岩崎京泉・美馬朋子・久保田千恵・美月留佳・白土愛眞・卯月亨・金原玄周・川又早苗・手塚唯次・神崎ひとみ・須田三男・凜百果・多田圭月子・浜口奈津子・八川林加（運営）



◎九月二十二日（日）「三鷹国際フェスティバル」にて無料鑑定会を開催。当日の天気予報では雨が心配されていましたが、天が味方したと思えるほどの晴天に恵まれ、ご来場者は昨年を更に上回る、255名の方からご相談をいただきました。

出演者 十五名（敬称略・順不同）佐藤宗眩・福田有倭・泰山林翰・岩崎京泉・金原玄周・川又早苗・中谷仁美・手塚唯次・山田倫子・凜百果・神崎ひとみ・松村恵・浜口奈津子・桜紫玉・八川林加

（運営）また、鑑定会開催中に次の方々からご厚志を賜りました。安藤忠雄様・湯川雪路様・久我山様（一般）・石井様（一般）・福田有宵先生・佐藤宗眩先生 この場をお借りして心より御礼申し上げます。



◆次回・行事予定

◎十一月八日（金）浅草西の市／場所／鷺在山長國寺様（東京都台東区千束）／時間①十時三十分②十八時／西の市特別祈願 冥加料五千元から。参加自由。

◎十一月十六日（土）「第九回 足立区勤労福祉会館展覧会」にて、無料鑑定会を開催。

足立区綾瀬のエリアでは、初めてのイベント開催となります。つきましては、無料鑑定会にご協力いただける先生方を募集いたします（十二・十三名程度）。ご希望の方は、事務局 八川林加までご連絡ください。

事務局だより

日時／令和元年 十一月三十日（土）午後一時十五分より（終了後懇親会予定）

場所／足立区勤労福祉会館ブルミエ 第二洋室 講演／福田有宵先生による「令和元年の回顧録」他。

■七月度（前回）総会参加者 六十六名の方がご参加されました。

■ご退会者報告

次の方々がご退会となりました。（敬称略・順不同）伊藤貞雄・小畑恵裕・亀谷憲代・犬飼利江・稲葉光信・黒江真帆・今野智円・紫百希 長年にわたるご活動に心から感謝申し上げます。

事務局長 八川林加

編集後記

会員の皆様におかれましては恙無くお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて有宵会だよりも来年度で百号を迎える運びとなりました。これもまた会員の皆さまのご協力の賜物と感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。編集長